

形成外科的手技の臨床的な特性と同手技を用いた治療の効果・安全性等に関する研究

研究対象：

国立がん研究センター東病院形成外科において、国立がん研究センター東病院開院以降、形成外科的手技を用いて診断、手術、治療などを実施された方を対象とします。

研究の目的・方法：

がん切除後の再建手術を含めたさまざまな疾患に対する形成外科的手技を用いた治療法は依然として改善の余地があります。本研究は、国立がん研究センター東病院形成外科の患者の診療データを用いて、形成外科的手技の臨床的な特性とそれを用いた治療の効果・安全性等に関して適切な解析を実施することを目的とします。本研究で得られた結果を新たな治療法を検討する資料とすることに意義があります。

本研究は、国立がん研究センター東病院の診療録の情報を収集し、解析することで実施されます。

研究に用いる情報の種類：

診療情報(性別、年齢、身長、体重、疾患名、病歴、生活歴、診療録、血液検査データ、画像所見) 等

問い合わせ先：

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。この場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：東野琢也（東病院形成外科 科長）

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

国立がん研究センター東病院形成外科

TEL：04-7133-1111